



# 議会だより よつかいどう



発行：四街道市議会  
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会  
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地  
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



表紙写真  
募集!

## 消防出初式

議会だよりでは、市民の皆さまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。詳しい応募要領は市議会ホームページをご覧ください。

(場 所：四街道中央公園)  
撮影日：令和2年1月11日

### 主な内容

- 主な議案の概要及び委員会審査概要 .....2～5
- 議決結果一覧 .....6
- 一般質問 .....7～12
- 第1回臨時会概要 .....13～14
- 委員会行政視察レポート .....14～15
- 広報広聴特別委員会4年間の取り組み .....15～16

## ■次回の定例会は3月10日開会の予定です

3月定例会の会期日程は、3月上旬に市議会ホームページに掲載する予定です。

本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。

(生中継と録画中継があります)

市議会ホームページアドレス

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>

または、議会事務局 TEL 043-421-6152 (直) までお問合せください。



## 主な議案の概要及び委員会審査概要

第4回（12月）定例会では、専決処分の承認、条例の制定及び改正、令和元年度一般会計・特別会計補正予算など17件の議案と発議案4件、陳情1件の審議や議決が行われました。  
主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。

（議決結果一覧は6ページに掲載）

### 議員 発議

発議案第6号 四街道市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、四街道市議会議員の議員定数を削減するため、提案するものである。

△議会運営委員会審査概要▽

【質】 昨年9月議会においても、同様の発議案を提出しているが、再度、提出した理由は。

【答】 昨年9月から1年余りが経過し、議員報酬の5%削減を実施しているが、未だ、四街道市の財政は大変厳しい状況である。また、本年9月議会で、市営住宅使用料の算定誤りにお

る過少徴収分約2700万円を議会において請求しないことを決定したが、議会としても何らかの対応が必要であり、議員定数を2名削減することにより、年間報酬だけでも約1500万円の経費の削減になる。  
また、現在20名の議員で議会運営を行っている中で支障もないことから、このまま20名ではないのではないかという判断からである。



発議案第8号 四街道市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、常任委員会等の委員の定数を変更するため提案するものである。

（条例の改正内容）

市議会議員定数が22人から20人に削減されたことに伴い、総務常任委員会の委員定数を8人から6人に、議会運営委員会の委員定数を9人から8人に改めるもの。

発議案第9号 佐渡斉四街道市長に対する不信任決議の提出について（否決）

【提案理由】 本案は、佐渡斉四街道市長に対する不信任案の提出について、次のとおり決議を致したく提案するものである。

（決議の主な内容）

佐渡斉四街道市長は、四街道市の最重要課題である次期ごみ処理施設建設にあたり、用地の残土埋立て事業の特定事業者として、土壌の汚染を未然に防止する責務があるにもかかわらず、十分な管理もせず市有地の大部分にわたる土壌汚染と過剰

土砂搬入をまねき、施設建設が3年以上も遅れることとなった。この問題は新聞各紙でも取り上げられ、多くの市民が知ることになり、市政のかじ取り役としてふさわしくないという声もたくさん頂いている。市民の信頼を失墜させたいと言えよう。

また、ごみ処理施設はすべての市民が利用する施設でもあり、現在稼働しているクリーンセンターは老朽化のため毎年修繕に約1億2千万円の費用を捻出せざるを得ない状態であり、財政面からも次期ごみ処理施設建設にはスケジュールどおりの事業遂行が求められていた。

また、次期ごみ処理施設を建設する吉岡区、並びに現在のクリーンセンター稼働にあたって長年のご協力を頂いているみそら自治会、山梨3区の住民の方々との約束もある。これらの事を考えると行政のトップとして辞職することが市民に対する責任の取り方だと考える。





総務

議案第2号 四街道市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する必要な事項を定めるため提案するものである。

質 採用方法は、これまでの臨時・非常勤職員とは、どのように変わるのか。

答 採用方法は、基本的には面接による選考を予定している。また、募集は市政だより、市ホームページなどを通じて行い、現在の臨時職員登録制度を踏襲した形にしたいと考えている。

議案第5号 四街道市一般職の職員の給与等に関する条例及び四街道市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、人事院及び千葉県人事委員会の給与改定に関する勧告に準じ、一般職の職員等の給料及び手当の支給額並びに支給割合を改定するため提案するものである。

質 人件費への影響額はどの程度を見込んでいるか。

答 令和元年度12月補正予算では、給料で約485万円、職員手当等で約1444万円の増額を見込んでいる。

また、令和2年度当初予算については、影響額を試算しているところである。

質 逸失した7500万円の補填という課題が残っているなかで、勧告には必ず従わなければならないのか。

答 人事院勧告、千葉県人事委員会勧告は、民間との給与較差を是正するために出されているものであり、それらに準じて給与改定を行うとの市の考えのもと、勧告を尊重して改定するものである。



議案第12号 令和元年度四街道市一般会計補正予算(第5号) (可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億2058万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ289億9228万3千円とするものである。

継続費については、総合福祉センター管理運営事業を追加するものである。

繰越明許費については、文化センター管理事業ほか2件を設定するものである。

債務負担行為については、会議録調製委託ほか33件を追加するものである。

地方債については、図書館整備事業債を追加し、文化センター改修事業債1件の限度額を変更するものである。

〈総務常任委員会所管事項〉

質 消防団施設維持補修工事296万6千円は、台風の被害に伴う消防団詰所の補修工事のことだが、現在の被害状況は。

答 台風15号による倒木で、第9分団詰所の屋根が破損し、応急的にブルーシートで覆っているが、多少、雨漏りしている状態である。また、シャッターが破損し、応急修理を行ったものの、強風が吹くと危険な状態である。

議案第17号 令和元年度四街道市一般会計補正予算(第6号) (可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4072万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ290億3300万7千円とするものである。

継続費については、次期ごみ処理施設整備事業を追加するものである。

繰越明許費については、地域災害対策事業を追加するものである。

〈総務常任委員会所管事項〉

質 国土強靱化地域計画策定支援業務委託料534万6千円について、補正予算として12月議会に追加提案した理由は。

答 令和2年度からは、国土強靱化地域計画に基づいて実施する事業は、国庫補助の重点的な配分や、優先的な採択の対象とされること、さらに、令和3

年度からは、交付の要件化が検討されることになってきていることから、早期の計画策定が本市の財源確保において有利であると考えられるため、補正予算として追加計上したものである。

**陳情第25号 鷹の台市民サービスコーナーの業務存続に関する陳情（採択）**

**質** 鷹の台市民サービスコーナーの最近の利用状況は。

**答** 平成30年度は、利用人数が911人、利用件数が1320件である。また、平成29年度は、利用人数が1017人、利用件数が1501件である。



鷹の台市民サービスコーナー

**（主な意見の要約）**

鷹の台市民サービスコーナーは、取次業務だけでなく発行まで行っており、住民の利用も非常に多い。マイナンバーカードの交付率も、鷹の台地区は市の平均よりも低く、利便性やサービスの向上には、カードの交付率が上がる必要がある。廃止は住民にとってサービスが減ることであり、令和2年度での廃止は慎重にしていきたい。

**都市環境**

**議案第1号 専決処分の承認を求めることについて（承認）**

**〔提案理由〕** 本案は、令和元年度四街道市一般会計補正予算（専決第3号）について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により提案するものである。

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4250万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ284億7170万円

**とするものである。**

**質** 被災住宅修繕緊急支援事業補助金2億3200万円について、詳細な説明を。

**答** 台風15号以降の一連の災害において被災した住宅を対象に、一部損壊または半壊と判定された罹災証明をもとに450件分の工事費に対する支援制度で、補助金の額は、工事費の20%、最大で50万円になる。



**議案第11号 訴えの提起について（可決）**

**〔提案理由〕** 本案は、次期ごみ処理施設等用地を含む市有地における過剰な土砂の撤去等にかかる費用並びに次期ごみ処理施設等用地及びその周辺における土壌汚染調査等にかかる費用の支払を求める訴えを提起するため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により提案するものである。

**質** 深度調査の結果が出る前に、訴えの提起を急がなくてはならない理由があるのか。

**答** 訴える時期を逸することがないよう、判明しているものから順次、提起していくことになる。また、次期ごみ処理施設の稼働を令和6年の秋口としていることから、スケジュールの遅延を可能な限り発生させない手段として、市が調査等を実施し、汚染状況を把握のうえ、その費用を相手方に請求すること、相手方に行行政命令した場合と異なり、命令の履行を待つ期間の業務停滞がなくなると判断したものである。

**質** 今回の訴訟提起で、裁判所に納める手数料はいくらか。

**答** 裁判手続きを利用する際の訴状に貼り付ける印紙代として、547万円になる。この金額は損害賠償請求額の22億2284万6021円に応じて決定する。

**議案第12号 令和元年度四街道市一般会計補正予算（第5号）（可決）**

**〔都市環境常任委員会所管事項〕**  
**質** 農産物生産等支援育成事業1億6361万2千円の詳細



な説明を。

**答** まず、災害等廃棄物処理事業費補助金650万円は、損壊した農業用施設を、生活環境の保全上に支障があるため、農業者が自らの費用で解体撤去した場合の補助金である。

次に、強い農業・担い手づくり総合支援補助金1億5711万2千円は、被災した農業者に対し、農業経営に必要な農業用ハウス、農業用機械等の再建、修繕、施設撤去に要する費用に対する補助金である。



議案第17号 令和元年度四街道市一般会計補正予算(第6号) (可決)

〈都市環境常任委員会所管事項〉

**質** 地下水モニタリング調査委託料721万1千円の詳細な説明を。

**答** 次期ごみ処理施設等用地において、5カ所に井戸を設置

し、その井戸を使用して、四季ごとの地下水流動方向等を確認することにより、周辺への影響を把握するための調査である。

**質** 道路等復旧事業1500万円について、法面の崩壊に伴う工事請負費とのことだが、工事箇所ごとの内訳は。

**答** 山梨南波佐間線法面復旧工事で約400万円、南波佐間地先法面崩壊復旧工事で約400万円、内黒田地先道路復旧工事で約700万円を見込んでいる。

### 教育 民生

議案第7号 四街道市福祉作業所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、四街道市第一、第二福祉作業所を統合し合理化を図るため、その他所要の規定の整備を行うため提案するものである。

**質** 第一福祉作業所と第二福祉作業所が統合されるに当たり、現在の第一、第二福祉作業所の利用者は合わせて25人との

ことだが、統合後の定員は。  
**答** 統合後の福祉作業所は、定員28名とする規則の改正手続きを進めている。

議案第10号 四街道市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

〔提案理由〕 本案は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うため提案するものである。

**質** 条例の改正内容について詳細な説明を。

**答** 放課後児童支援員は県が実施する放課後児童支援員資格認定研修を修了する必要があるが、今回の改正により政令指定都市の長が行う研修でも同様に放課後児童支援員と認定されることになる。



議案第12号 令和元年度四街道市一般会計補正予算(第5号) (可決)

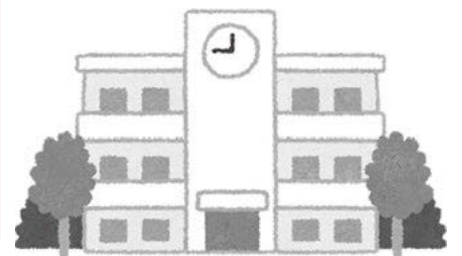
〈教育民生常任委員会所管事項〉

**質** 地方債補正の図書館整備事業について、外壁工事のスケジュールは。

**答** 年度内の完成を予定しているが、開館しながらの工事であり、天候など不測の事態に備えるため、繰越明許費を設定したものである。

**質** 小学校学習教材整備事業で、備品購入費22万4千円を増額する理由は。

**答** 来年度から5年生・6年生が使用する英語用デジタル教科書に要する市内12校分の費用として、約200万7千円の経費に対する予算の不足分などを計上したものである。





## 一般質問

第4回定例会では12月5日から6日まで、9日から12日までの6日間、17人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所本館2階の情報公開室に設置の会議録、または市議会ホームページの会議録検索（第4回定例会分は3月上旬公開予定）でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部のみを掲載しました。

市議会ホームページアドレス <https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>



四街道の明るい  
未来のために

坂本 弘毅

**問** 厳しい財政状況の中、経常収支比率の改善に向けて今後どう取り組んで行くか。

**答** 第8次行財政改革推進計画を確実に実施するとともに、引き続き、経営改革会議で全庁を挙げた事務事業の見直しを行い、更なる歳入確保、歳出削減に取り組んでいく。

**問** 新たな財源を確保するためにも、企業誘致を積極的に進めて行くべきだが、どのような計画を考えているか。

**答** 総合計画の中で、特定の地域において、進出企業に対する優遇措置となりえる制度研究のほか、成台中土地区画整理事業等の進捗を踏まえた土地利用の可能性を探っていく。

**問** 成台中土地区画整理事業の物流施設誘致や宅地開発の現況はどうなっているか。

**答** 物流施設誘致は流通産業地区を一括購入した大和ハウス工業(株)による企業進出が進められており、現時点では住友重機械建機クレール(株)の進出が具体化している。住宅地区は令和2年3月に造成が完成する予定である。

**問** 本市でも台風被害が相次いだが、危機管理監として得た教訓と、今後の危機管理体制をどのように強化して行くのか。

**答** 改めて情報伝達、特に、市民に対する広報の重要性と難しさを実感しており、今後、情報伝達体制の更なる充実に努める考えである。



必要な時に必要な情報が  
入る体制づくりの構築を

成田 芳律

**問** 先日の台風、豪雨時での情報伝達に課題がなかったか何う。

**答** 情報発信のタイミングや内容については、おおむね適切であったものと考えているが、市民の皆様一人ひとりには、まだ伝わらないのも現実である。

**問** 災害時での情報伝達に関する今後の方向性を何う。

**答** 今後は、情報の発信頻度を高めるとともに、あらゆるチャネルを活用し、発信媒体に関する啓発も行っていく考えである。

**問** 認知症の方が行方不明になった時に、早期発見が期待できるラベルシールを、当市でも検討する価値があると考えるがいかがか何う。

**答** 認知症の方が行方不明になった時の取り組みとして、QRコードが印刷されたシール等を活用することについては、県内他市町村の実施状況を調査・検証し、導入の是非を考えていく。

**問** 脱いじめ傍観者教育の状況と、課題を何う。

**答** いじめ問題について、子どもを「加害者にも、被害者にも、傍観者にもしない」教育を実現することが必要であり、市教育委員会では、全ての児童生徒の人権意識の高揚を図り、いじめを許さない学校づくりに努めている。





本市が導入する  
内部統制制度について  
栗原 愛子

**問** 本市の業務リスクに対する対応の現状について伺う。

**答** 現在、リスクの管理については、関係する課等がそれぞれ管理するもののほか、各所管課での日常業務や職員研修等を通じて業務の管理方法については認識し、実行しているものと考えている。今後は、本市が抱えているリスクを洗い出し、組織全体で共有して、事務の適正な執行を確保するため、内部統制制度を導入する。

**問** 業務内容の連携は必要な情報が伝達されるだけでなく、それが受け手に正しく理解され、組織内の全ての職員に共有されることが重要だが、そのことを確認するための手段をとっているのか、また、どのような方法で行っているのか伺う。

**答** 全ての職員で共有すべき事項については、庁内イントラの掲示板を活用し周知を行っている。このことから、全ての職員で確認がとれているものと考えている。

**問** 内部統制制度の構築に向けてどのように進めていくのか伺う。

**答** 現在、内部統制制度の導入に向けた庁内研究会を設置した。今後は、内部統制制度導入に向け、対象事務の決定、リスクの洗い出し、リスク対応策の整理等を行っていく。



四街道市国土強靱化  
地域計画の策定に向けて  
石山 健作

**問** 先の台風や豪雨は当市にとって未曾有の出来事であった。そうした気象災害だけではなく、首都直下や南海トラフなどにおける巨大地震の発生も懸念されおり、大規模な自然災害に対する脅威は、確実に高まっている状況にあると思われる。四街道市が災害に強い街づくりを進め、市民の安心・安全を推進するうえで、国土強靱化地域計画の策定に早急に取り組むべきと考えるがいかがか。

**答** 千葉県内でも比較的先行する形で、計画策定に向けた業務に既に着手したところである。

**問** 県内の策定済み自治体名と関東及び全国の策定済み自治体数を伺う。

**答** 令和元年10月1日現在、都道府県は47都道府県すべて策定済みである。市区町村は、県内では、千葉市と旭市が策定済みであり、関東では、293市区町村中1区11市、全国では、1741市区町村中117市区町村が策定済みという状況である。

**問** 国土強靱化地域計画は、本市の総合計画と重複する部分があると思うが、策定にあたっての位置づけを伺う。

**答** 現段階で、当市は、国土強靱化地域計画と総合計画は、整合・調和を図りつつ策定していくことになると考えている。



大型台風の本市への  
被害と対応を問う  
岡田 哲明

**問** 令和元年台風15、19及び21号での本市に対する被害の状況及び災害ゴミが大量に発生した際の対応を問う。

**答** 台風15号では、軽症者2名、倒木251件、冠水・浸水4カ所、停電が最大約1万3400件、19号では、倒木20件、冠水・浸水10カ所、21号に影響した大雨では、軽症者1名、冠水・浸水54カ所という状況であった。災害ごみについては、日本大学と協定を締結している仮置場面積が9万8984㎡で十分な広さを確保している。今後、複数の仮置場候補地の選定にも努めたい。

**問** ペット同伴の避難を要望する市民に対し、平日頃より飼い主及びペットへの講習や訓練が必要であると考えているが、市の対応を問う。

**答** 普段からケージに慣れさせるなどのしつけやペット用品の備蓄が必要であり、市政だより等で広報に努めている。今後は、より市民の皆様へ周知するための機会を提供していく。

**問** 山梨小学校体育館が大きな被害を受けたことにより、小学校児童や地域住民の学校行事や市民活動に影響が生じているが、修繕工事の予定と、今後、学校行事等に支障が生じた場合の対応を問う。

**答** 窓ガラスが8枚割れ、屋根の一部が飛散し、浸水した雨により床全体が反っている状況である。屋根の復旧工事は3月中に完了予定で、その後、床の復旧工事を行う。

**問** 仮称郷土歴史館開設に向けた取り組みから、その必要性和開設候補地について市の考えと今後の対応を問う。

**答** 歴史民俗資料館の整備は、教育振興基本計画及び市総合計画に位置づけられており、必要であると考えている。候補地は、公共施設の再配置計画などにおいて考えていく。





マイナンバーカードの  
普及率向上に向けて  
関根 登志夫

**問** マイナンバーカードの交付状況とマイナンバーカードの普及率向上に向けて現在どのような対策を行っているか伺う。

**答** マイナンバーカードの交付状況は、令和元年10月末現在で、市民に交付したマイナンバーカードの枚数は、1万5633枚で、10月末現在の人口9万4887人に対する交付率は、16・48%となっている。普及率向上の対策としては、現在、市内10カ所の郵便局でマイナンバーカードのオンライン申請ができるよう、郵便局と協議を進めている。

**問** 美しが丘の郵便局をはじめ、四街道駅前、つくし座、大日、鹿渡、千代田、旭ヶ丘、みそら、めいわ、鷹の台の特定郵便局で申請が可能になるとのことだが、四街道市が内閣府と合意して、郵便局、特定郵便局にマイナポータル用端末及び付属品を配置し管理する事は、千葉県では初めての事例になると思うがいかがか。

**答** 群馬県前橋市、栃木県小山市、埼玉県さいたま市に次いで全国4番目の取り組みで、千葉県では初の取り組みとなる。現在、国に対し、各郵便局に設置するマイナポータル用端末の借用申請を行っており、今年度中の実施に向け準備を進めている。



千葉市との合併で  
未来を拓け  
森本 次郎

**問** 一連の台風による災害時に、避難所が設けられたが、「ペット可」の施設を明示、また市内の被災状況・警戒区域の避難勧告など、よりわかりやすい情報提供をするべきだったのではないか。

**答** 土砂災害警戒区域など、防災ハザードマップでの確認をお願いしたい。また、防災無線情報だけでなく、「よめる」など、文字情報でも確認をしていただきたい。

**問** 災害対応の観点から、電柱の点検、移設などを東京電力に要請できないか。

**答** 電柱の耐震、安全確保については、定期的に行っている占用者会議を通じ、東京電力へ要請する。

**問** 9月議会で、交付金の手続きミス、市営住宅の家賃徴収ミスに関する、穴埋めの議案が否決されたが、今後の対応は。

**答** 損失補填については債権放棄がされており、穴埋めする債権は消滅している。住民監査請求も出ていることから、最終的な監査結果を注視したいと考える。

**問** 吉岡の次期ごみ処理施設は、不適切な残土処理で、事実上破綻しており、行政の信用も失墜している。今後は、千葉市との連携の中で、ごみ処理行政を進めるべきでは。

**答** これまでの議会において、ご答弁申し上げている通り、吉岡区に取得した用地において、次期ごみ処理施設の建設を進める方針に変更はないものである。



市が契約違反を  
しているのでは  
大谷 順子

**問** 次期ごみ処理施設用地において下野商事との契約で定めた土砂搬入範囲はどこか。

**答** 市有地と民有地の境界にある窪地部分であり、面積については、約2万2千㎡である。

**問** 市有地と民有地の境界部だけで、市有地全域ではないのか。

**答** 窪地解消工事であり、全域ではない。

**問** 施工計画書はあくまでも契約に基づいてなされるものと理解しているが、下野商事に対しては、変更に関する協議あるいは承認はとっているのか。

**答** 下野商事から大谷総合都市計画事務所に工事を委任していることから、市としては、委任された大谷総合都市計画事務所と下野商事において協議を行っていたものと考えている。

**問** 土地交換契約を取り交わしたのは市と下野商事。土砂の搬入範囲が変更になるに当たり、契約の修正を行わなければいけないのに、やらないまま敷均し工事を行っている。そうすると市有地全域の土壌汚染と過剰土砂搬入の責任は事業者である市になるのではないか。

**答** あくまでも、工事に関しては、下野商事が請け負っているものと市は考えており、敷均し等についても、当時、大谷総合都市計画事務所より変更施工計画書の提出があり、それに基づき、工事の変更を行ったものである。



市長の政治姿勢を問う

阿部 治夫

**問** 栗山埋立地の現状を伺う。

**答** 水素イオン濃度等が高かったことから、場内観測井戸等の水質調査を継続して行っており、平均的には概ね横ばいに推移している。埋立地から出た排水は、水処理施設の通過により、水質改善の効果が見られる。

**問** 次期ごみ処理施設建設に係る土壌汚染の状況を伺う。

**答** 地質等状況調査の速報値において、表土調査69検体のうち、6検体で水素イオン濃度の基準値を超過し、その他の項目は基準値を満足する結果がでたところである。

**問** 議会での工事実施承認を得るための議案を提出しなかった理由を伺う。

**答** 予算措置のない契約による工事の実施は、市議会の議決が必要とならないためである。

**問** 特定事業許可の適用除外として、無法状態にし、管理不在の状態にしたとの指摘があるがどうか。

**答** 土地交換契約書により、下野商事が窪地解消工事を施工することになっており、工事の履行及び監理の責任は、下野商事にある。また、新たな訴えの提起により、下野商事、大谷総合都市計画事務所、建設機構、さらに、実作業の一部を実施した泰斗建設に対し、過剰土砂かつ汚染された土砂の搬入の共同不法行為によって市が被った損害について、法的責任を追及していく。



今年の台風被害を教訓に、減災準備をいまから

阿部 百合子

**問** 市営住宅使用料の算定ミス、こどもルーム建設交付金内示取り消し、次期ごみ処理施設土壌汚染問題の、最終決定権者は市長ではないのか。市長の責任をどうとるのか。

**答** 市長10%、副市長7%の給与減額に加え、管理監督責任として、10月から3カ月間、それぞれ10%を減額している。今後、内部統制制度を導入し、事務の適正な執行を確保する。また、市民の皆様が安心していただけるよう、土壌汚染対策法に基づく調査及び汚染土壌対策を行い、次期ごみ処理施設を建設することが、市長としての責任であると考えている。

**問** 被害情報の発信がないと、隣の団地が停電していることも知らないでいる。知っていればお風呂に入ってもらえないでいる。知っていれば自治会への情報提供のお願いと今後の対策は。

**答** 今般、各区・自治会には地域への情報提供等で活動して頂いた。また、自主防災組織が活躍したものと確信している。今般の災害を一つのきっかけとして、区・自治会に対し更に自主防災組織の結成を促していきたい。

**問** 国や県で出した台風被害支援通達の中には、地元自治体でプラス補填しようとするれば出るものもあるが、当市は実施しているのか。

**答** 今般の当市支援制度は、国や県の方針を踏まえたうえで、市として十分対応した制度としている。

**問** オスプレイが木更津駐屯地へ暫定配備されることに対する、本市への説明はなかったのか。

**答** オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備については、木更津市を対象とした説明会が開催されたことは承知しているが、当市への説明はなかった。



災害に強いよつかいどうを目指して

高橋 絹子

9月10月の災害を通して伺う。

**問** 思わぬ長期停電に千葉県が見舞われたが、その原因と今後の長期停電対策について、市と地域と市民それぞれについて伺う。

**答** 停電の原因は、強風による倒木等に起因する配電網のトラブルであると聞いています。今後は、災害時における広域停電への対策を自助・共助・公助、それぞれのレベルで対応できる停電対策の推進が課題である。

**問** すでにハザードマップで指定されている土砂災害警戒区域の方47世帯125人に避難勧告が出されたが、当事者は自分たちのことだと知っていたのか。何世帯何人避難したか。

**答** 避難勧告を発令し、各種手段により避難を促したところ、3世帯8名が避難所に避難した。

**問** 土砂災害警戒区域以外の土砂崩れがあったようだが、人々人命の被害はなかったか。

**答** 10月25日の大雨では、土砂災害警戒区域とは異なる箇所4カ所で傾斜地の崩落等が生じたが、比較的小規模な崩落等であることから、人々、人命に危険が及ぶ状況ではなかった。

**問** 雨水処理は行政の責任と思うが、床上浸水、床下浸水の状況は。床下浸水の把握と、床上浸水の方への支援はどのようにしたか。

**答** 10月25日の大雨による被害は、床上2軒、床下5軒を含む冠水・浸水箇所が54カ所という状況であった。なお、その対応については、主として災害警戒本部体制により対応し、おおむね適切に対応できたものと認識している。





土壌汚染の  
全疑惑の解明を  
栗原 直也

**問** 都市計画道路の全線開通には市単独で約230年、総事業費は約370億円と推定される。財政状況の悪化や将来人口の減少などから事業見直しを求めるがいかがか。

**答** 平成22年度、29年度の都市計画道路見直しガイドラインに基づく点検結果において、変更、廃止が必要な路線はなかったが、今後、各種調査を踏まえ、新たなガイドラインが示された時点で、検証を行っていくものである。

**問** 次期ごみ処理施設用地の土壌汚染では、民間事業者の数億円もの利益行為に、市が大きく加担したとの疑いが残る。この疑惑に対して全ての資料、証拠、証言を以て市は説明責任を果たすべきと思うが考えを伺う。

**答** 裁判において関係書類は示すこととなるため、裁判外での資料の積極的な公表は、裁判に与える影響を考慮し、控えさせていた。なお、裁判に影響が出ない段階で、本件についての検証、総括は必要と考えている。

**問** 鹿渡南部区画整理組合は業務代行者を1千万円以上の業務上横領罪で告訴した。市はこれまで多くの事業でこの企業と深く関わり続けたが、深い繋がりや癒着が全くなかったと断言できるのか伺う。

**答** 事務代行者の選定は、あくまで認可前の準備委員会や組合総会により決定されるものである。ご質問のようなことは無かったものと認識している。



明日を切り拓く心豊かで  
たくましい人づくり  
清水 清子

**問** 四街道市郷土歴史館設立に向けて、市長、教育長の決意を伺う。

**答** 歴史資料の収集・保管・整理を行い、市民の方知っていただくための展示施設として、歴史民俗資料館の整備は必要であると考へており、市総合計画後期基本計画・市教育振興基本計画後期計画にも位置づけている。

**問** 児童虐待根絶に向けて、当市の事案件数と取り組みについて伺う。

**答** 令和元年11月末現在で128件あり、ケースワーカーと相談員が関係機関と連携し対応している。虐待のリスク要因として、出産・育児に関わる様々な不安やストレスがあるため、保護者に寄り添い相談支援を行っている。

**問** 子どもに向き合える環境づくりには、教員のメンタルヘルスケアが大事ではないかと思う。働き方改革への取り組みについて伺う。

**答** 生徒指導補充教員等の配置を行うとともに、給食費の公会計化、校務支援システム、メッセージ電話の導入、部活動指導員の派遣など教職員の負担軽減を図っている。

**問** 障がい者理解の推進で教育現場の子ども達への障がい者理解の取り組みについて伺う。

**答** 障害者への理解については、「福祉教育」や「人権教育」の中で多く行っている。例として、特別支援学校との交流や車椅子やアイマスクの体験等により、身体の不自由な方の気持ちを理解する学習を行っている。



黒塗りに疑念、22億円の  
議案取り下げを  
大越 登美子

**問** 都市計画税の用途について、説明責任を果たす上で、事業計画等の資料掲載が必要だと思いがいがか。

**答** 当初予算、決算の説明資料及び、市ホームページに掲載して、市民への周知を図っているところだが、掲載内容については、他団体を参考にしながら、研究していきたい。

**問** 2千㎡以内ごとの発生元証明書と地質分析結果証明書がない分に関しては、どう安全と言えるか。

**答** 発生元証明書は、適用除外となっているため、2千㎡以内ごとの提出は要しないが、量の大小にかかわらず提出する必要がある、全て安全であることを確認している。

**問** 適用除外ということは、市が確認しなければならぬ。2つの証明書以外に、ほかにも搬入状況の資料は存在するか。

**答** 市で管理、把握をしているのは、約17万㎡の発生元証明書とそれに添付された地質分析結果証明書だけである。

**問** 裁判所に提出された説明書には、過剰な土砂の搬入量及び撤去費用について書かれてある。提出された積算内容に不備があり、議会に議案の根幹となる内容を提示できないなどありえない。市長、11号議案の取り下げを。

**答** 質問の中には、裁判において争点になることが懸念される部分がある。また、答弁の仕方によっては、相手方に証拠隠滅の恐れがあり、答えられないこともある。積算内容が間違っているという指摘については、委託調査の結果を受けたもので、誤っていると判断していないため、議案を取り下げることはない。



災害に強い街づくり

西塚 義尊

**問** 共助の要として重要なのが、自主防災組織であるが、市内の自主防災組織のカバー率を伺う。

**答** 現在44組織が設立されており、平成31年4月1日現在の活動カバー率は約81%である。

**問** 災害時には正しい情報を速やかに発信し、多くの方と共有する必要がある。それにはツイッターが効果的だが、市の公式ツイッターを開設してはどうか伺う。

**答** 災害時におけるツイッターによる情報提供は、速報性・拡散性など、その特性から、緊急対応における有益なツールになると考えており、今後、有効活用するための準備に取り組んでいく。

**問** 避難所となる体育館では、床に毛布などを敷いて寝ることによる負担の軽減に、段ボールベッドの活用が勧められている。段ボール工業組合連合会との防災協定を結ぶ自治体が増えてきているが、市の考えを伺う。

**答** 現時点で協定締結の予定はないが、段ボールベッドは、長期にわたる避難所生活等で効果的であると認識している。今後、県や他の自治体の動向を注視していく考えである。



安心・安全の街づくりに向けて

長谷川 清和

**問** 10月の大雨により土砂被害のあった亀崎地先の状況と、復興に対しての考えを伺う。

**答** 亀崎地先の法定外道路に接した法面崩落箇所については、応急対策工事及び倒木伐採を行い、今後は詳細測量を行ったうえで、道路の通行を確保するための復旧工事を進める。

**問** 西口自転車駐車場は、無断駐車が多い場所だと聞いているが、四街道市営自転車駐車場管理棟の設置はいつごろになるのか伺う。

**答** 四街道市営自転車駐車場の管理棟については、すでに工事の入札手続き中であり、今年度中に完成する予定である。

**問** みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）の若者の参加についての考えを伺う。

**答** 現在も小学生や大学生が参画するコラボ四街道事業を実施しているが、今後も「アングラー19」の活用、若者が主体となる事業等を通じて、興味喚起、参加促進を図りたい。

**問** 消防フェスティバル四街道2019が11月9日、10日に開催されたが、その成果について伺う。

**答** 約6900人の多くの家族連れが来場し、子供たちは、はしご車乗車体験やAEDの取り扱いなどを目を輝かせて体験し、消防への関心を深めていただけたものと考えている。



各種検診状況、医療と介護の連携について

山本 裕嗣

2020年度予算において、政府は病気の予防などに積極的に取り組む自治体、介護の予防や自立支援に効果を上げた自治体に対して交付金を拡充させることを決定し、認知症予防や要介護度の維持、改善に向けた取り組みを自治体間で競わせ、介護費を抑える狙いがあると報道されている。今後の市の取り組みを伺う。

**問** 各種検診状況（予防接種含む）について。  
**答** 令和元年10月末の65歳以上のがん検診の受診者数は昨年同時期と比べ、胃がん検診は28人増、他は減少している。インフルエンザの定期接種者数は昨年同時期より132人少ない。高齢者肺炎球菌の定期接種者数は千人以上少ないが、これは国の経過措置延長により70歳以上に既に接種済の方が多かったと思われる。

**問** 介護事業への取り組み状況について。  
**答** 第7期計画の施策の内、特定施設入居者生活介護施設の整備については、HITOWAケアサービス(株)を事業候補者として選定した。今後は計画期間内の完成を目指すと共に、計画の各施策の推進に努める。

**問** 高齢者を狙った特殊サギ撲滅に向けて。  
**答** 防犯パトロール車に「電話de詐欺特別警戒中」のマグネットシートを付けてのパトロールや、防災行政無線で注意喚起を行ったほか、3月には高齢者を対象に防犯と交通に関する講習会を開催する。12月15日と21日には警察署と特殊サギ撲滅に向けた啓発活動を行う。



## 第1回臨時会（10月）

### 議案の概要及び委員会審査概要

令和元年10月16日に令和元年第1回臨時会が行われました。臨時会では、「工事請負契約の締結について」及び「令和元年度四街道市一般会計補正予算（第4号）」の2議案の審議や議決が行われました。委員会での審査内容の審査内容の審議や議決（議決結果一覧は14ページに掲載）

#### 総務

議案第1号 工事請負契約の締結について（可決）

【提案理由】本案は、文化センター会館棟他耐震補強等工事について請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により提案するものである。

【質】 低入札価格審査委員会が開かれたということだが、どのような意見がでたのか。

【答】 「市の設計内容と入札時に提出される入札内訳書との乖離が大きいのはどの工事種別か。」また、「工事実績や、工期内の履行完了が可能なのか。」と

いうことが主な意見であった。

【質】 市の予定価格の90%くらいとなった理由は何か。

【答】 一般管理費が市の設計より請負者が約1700万円低く見積もっていたことが大きな理由である。

議案第2号 令和元年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5322万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ282億2920万円とするものである。

〈総務常任委員会所管事項〉

【質】 歳入予算の、防犯設備運営事業補助金31万6千円について詳細な説明を。



【答】 歳出予算の防犯対策事業、防犯カメラ設置工事63万3千円の財源の一部となるものであり、平成31年度千葉県市町村防犯カメラ等設置事業補助金交付要綱に基づき、補助を受けるものである。

【質】 予備費700万円について、詳細な説明を。

【答】 台風15号被害対応のために支出した金額は、現在、精査中だが、概算で600万円以上が見込まれることから、700万円の補正予算を計上した。

#### 都市環境

議案第2号 令和元年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）

〈都市環境常任委員会所管事項〉

【質】 交通安全施設整備工事で278万3千円が計上されているが、カーブミラーなどの破損

は何件くらいあったのか。

【答】 カーブミラーの損壊が6件、警戒標識の倒壊が1件あり、これらに対応するために計上したものである。



【質】 池花公園や千代田近隣公園の倒木は、現在もそのままになっているようだが、今回の予算ですべて搬出されるのか。

【答】 今回の補正予算で、すべて伐採、搬出処分する予定である。

【質】 公園以外にも、倒木が道路をふさいだところがあったと思うが、その撤去に要する費用については、どのように対応したのか。

【答】 ほとんどの倒木については市職員が直接、撤去作業を行ったが、職員では対応できないものについては、現予算を活用して業者に発注し対応した。

【質】 都市公園の管理は、指定管理者にお願いしていると思うが、今回の被害への対応についての、市と指定管理者の費用負担区分はどのようになっているのか。

**答** 市と指定管理者で現地を確認し、太い幹の部分については市が、細い枝の部分については指定管理者が対応することになり、市が負担する部分について今回の補正予算に計上している。



千代田近隣公園の倒木

教育 民生

議案第2号 令和元年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

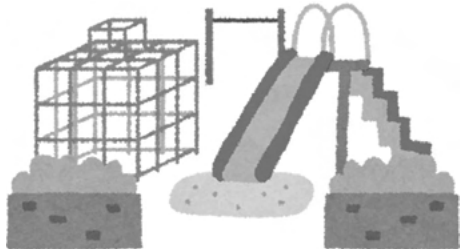
〈教育民生常任委員会所管事項〉

**質** 南部総合福祉センター管理運営事業の樹木伐採委託料49万5千円について、委託先は決まっているのか。

**答** 6本の樹木を伐採するもので、補正予算成立後、契約手続きに入り、決定する。

**質** 小学校施設設備維持管理事業の小学校維持補修工事1707万7千円の内訳は。

**答** 山梨小学校屋内運動場屋根復旧工事1千万円、栗山小学校フェンス復旧工事277万円、中央小学校屋上テラス撤去工事61万円、南小学校フェンス改修工事165万円、旭小学校プール機械室屋根補修工事203万円になる。



令和元年第1回(10月)臨時会 議決結果一覧

※議長(戸田由紀子)は、採決には加わりません。

○:賛成 ×:反対

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	岡田哲明	※戸田由紀子	石山健作	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	工事請負契約の締結について	原案可決 (全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和元年度四街道市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全員賛成)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会 行政  
視察レポート

広報広聴特別委員会

日程 令和元年10月2日

視察先 東京都あきる野市

視察内容

議会だよりのリニューアルについて

1. リニューアルのきっかけ  
平成20年の市職員の研修会で、30自治体の議会だよりの、どれを手にとって読みたいかとのアンケートで、あきる野市議会だよりは0票の結果となり、職員からリニューアルの提案があった。しかし合併前の議会だよりが優秀賞を2度も受賞しており、古参議員はこのままで良いとの意見が強く、リニューアルには至らなかった。

その後の改選で、調査研究グループを立ち上げ、「手に取ってもらえる表紙づくり」と「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」をテーマにして約2年間調査研究に取り組んだ。

2. ターゲットを決める  
興味を持ってもらうために号ごとにターゲットを決めて特集



記事を掲載した。議員や職員の人脈から調整して委員が取材の対応を行った。

3. 読みやすさの取り組み

ホワイトスペース(余白)を効果的に活用することで、文字だらけの単調な紙面から脱皮することができると。外部のデザイナーがアドバイザーとして参画してくれたことも、これまでになく議会広報紙の完成に大きく寄与している。

4. 本当に読んでもらいたいところ

議案審議と一般質問は最も読んでもらいたいところである。見直しのポイントとして、「行政用語を通じる言葉に」「知らせたいことと知りたいことの差」「読んでほしい量と読める量の差」の3点である。これまで文字ばかりびっしりと書き込んでいたが、分かりやすい文章に置き換えて写真で説明するようになった。

5. 効果

リニューアル後の市民アンケートでは、85%の市民が「リニューアル後の議会だよりの方がよい」との評価を得ることができた。

6. 所感

リニューアルにかける思いと

作業の話聞いて、並大抵の努力では成し得ないものがあると実感した。あきる野市を視察した他の自治体では、あきる野市の議会だよりとそっくりな広報紙を作成しているところもあり、あきる野市も「どんどん真似してください」と言っている。私たちもいくつかのマイナーチェンジには至っていきませんが、大幅な刷新には至っていない。これまで行政視察で学んできた内容を力にして、いつかは市民の皆さまに喜んでもらえる議会だよりの編集に結びつけていきたいと決意を新たにしました。

(西塚 義尊記)



あきる野市にて

広報広聴特別委員会 4年間の取り組み

平成28年2月の改選で新たな四街道市議会として出発し、同年の6月議会において広報広聴特別委員会が発足しました。

広報広聴特別委員会は、議会基本条例に基づき設置されたものであり、市民の負託に応え、信頼される開かれた議会を目指して、議会だよりの発行と議会報告会の企画運営をすすめています。

先進的な取り組みを行っている自治体への行政視察を行い、四街道市議会にも取り入れることができるものは、積極的に取り入れました。平成28年度から令和元年度までの4年間の広報広聴特別委員会の取り組みを紹介いたします。

★「議会だより」の取り組み

議会の内容を市民の皆さまにわかりやすくお伝えすることが議会だよりに求められています。当委員会では、議会ごとに委員会を開催するだけでなく、会期以外でも、委員が集まって意見を出し合い、より良い議会だよりの編集に取り組んでまいりま

した。毎年7月に開催される議会広報の研究会に全委員が参加し、先進的な広報紙の取り組みを積極的に採用しました。

△主な取り組み▽

【表紙にQRコードを表示】

平成30年8月15日発行の議会だより191号から表紙に四街道市議会ホームページのQRコードを表示しました。表紙写真応募の記事をQRコードで市議会ホームページに誘導することで、これまで最終面に掲載していた記事スペースを有効活用することができるようになりました。

【定例会日程をカレンダー化】

議会だより191号から最終面に次回定例会の日程をカレンダー表示で掲載しました。これにより、一目で会期スケジュールが分かるようになりました。

【議員の顔写真を掲載】

議会だより191号から、一般質問の記事に質問を行った議員の顔写真を掲載するようになりました。市民の皆さまに開かれた議会として親しんでいただくために、各議員がどのような質問を行ったのか分かりやすくしました。

「議会報告会」の企画運営

開かれた議会を目指して、議会で議決した内容の報告と、市民の皆さまからのご意見を伺う場として議会報告会を開催してまいりました。この4年間では、第5回から第10回まで計6回の議会報告会を開催いたしました。参加された皆さまから報告会の運営についてのご意見を頂き、委員会の中で、次の報告会に活かすよう検討してまいりました。

議会報告会の運営状況

【第5回】平成28年10月29日開催  
全体会では3・6・9月議会の



広報広聴特別委員会の様子

報告を行い、引き続き参加された皆さまからのご意見を頂きました。その後、常任委員会ごとの3分科会に分かれて、あらかじめ決めておいたテーマに沿って皆さまからの質問やご意見を頂きました。

【第6回】平成29年5月21日開催  
全体会では12月・3月議会の報告を行い、その後、4つのグループに分かれて、意見交換を行いました。テーマを設けずに少人数のグループとしたことで参加者と議員が自由に意見交換することができました。

【第7回】平成29年11月18日開催  
【第8回】平成30年5月19日開催  
【第9回】平成31年2月2日開催  
第6回と同様に、はじめに全体会を行い、その後は4グループに分かれての意見交換を行いました。テーマは設けずに、皆さまからのご意見やご質問を伺いました。

【第10回】令和元年8月3日開催  
第9回議会報告会において、全体会終了後、グループに分かれずに引き続き全体での意見交換会を行ってほしいとのご意見を多数頂きましたので、委員会に持ち帰り協議を重ね、第10回議会報告会では、全体会での報告終了後、引き続き意見交換会

を行いました。参加者全員が平等に話して頂けるように発言時間を設定させて頂きました。発言時間の設定については、賛否がありましたが、活発な意見交換が行われました。



第10回議会報告会の様子

まとめ

このように広報広聴特別委員会では開かれた議会を目指して、市民の皆さまの声を聞きながらより良い議会広報に取り組みでまいりました。これからも、広く皆さまからのご意見を取り入れ、それを具現化できる工夫に取り組んでまいります。

(西塚 義尊記)

議会事務局より

広報広聴特別委員会委員の活動を事務局としてサポートさせていただきました。

議会だよりの発行では、市民の皆さまに手に取っていただくような紙面づくりとするために委員会へ出される様々なアイデアを、どのように紙面に反映させることがより良いかが、お手伝いさせていただきます。

また、議会報告会では、開催に向け、多くの市民の皆さまにご参加いただけるよう、開催日時や場所の調整および当日の会場準備などのお手伝いをさせていただきました。なお、事務局の意見にも耳を傾けていただきましたことに感謝申し上げます。



故 津島秀樹議員

津島秀樹議員が令和元年11月4日に逝去されました。

平成28年3月に市議会議員に初当選されて以来、市政の発展に大きく寄与されました。

ご功績をたたえ、謹んでご冥福をお祈りいたします。